



6 鳥取県鳥取市 麒麟のまち地域食堂ネットワーク運営事業

【麒麟のまち地域食堂ネットワークホームページ】 <https://chiikisyokudounet-kirin.com/>

総事業費(令和7年度):9,995 千円 コーディネーター配置人数(令和7年度):2人

● 事業概要

鳥取市を中心に、1市6町で麒麟のまち圏域を構成し、地域共生社会の実現を推進するために、こどもを含む全年代の市民が集う地域食堂等の居場所の推進と、中間支援ネットワークの構築をはかるもの。

● コーディネーターの配置状況等

行政・居場所の運営団体・地域企業等の支援団体によるネットワーク組織「麒麟のまち地域食堂ネットワーク」を立ち上げており、広域連携で動くことのできるプラットフォームとして位置づけている。コーディネーターはこの団体内に配置されている。

以前より独自財源で1名配置していたところ、令和7年度よりこども家庭庁の事業を活用し、もともと地域活動に関わっており、地域の信頼がある人物を、新たに1名コーディネーターとして任命した。

● コーディネーターの業務内容

① 地域食堂等の居場所づくり実践の実態把握

地域食堂等の居場所に対するペーパー調査やヒアリングを実施し、その結果は極力公開することで、地域食堂の取組の見える化を進めている。

② 活動に関する相談窓口

何かあった際に実施団体が気軽に相談できる窓口となっている。地域活動の「部活動」の立ち上げ等、相談をきっかけとして活動の幅が広がることもある。また、実施団体にとって相談先があることが、困り感の軽減につながっている。

③ 地域の潜在的な人材発掘

全小学校区での地域食堂の開設を目指しており、担い手の発掘のため、「地域食堂入門講座」等の企画を各地域で実施し、参加者に声をかける等している。

④ 企業連携の推進

地域企業等、支援団体の取りまとめも行っており、支援方法に悩む企業とは協議し、本業に関わらずフードドライブへの参加やマンパワーの提供等につなげている。また、年1回のネットワーク組織の総会では、運営団体と支援団体が直接会い、顔の見える関係を構築できるようにしている。

⑤ 寄付された食材等の管理・仕分け

多くの食材等が寄付されるため、それらの管理等も重要な役割となる。

● 本事業の特色等

鳥取市を中心に、周辺の6町と圏域の取組を推進している点が最大の特徴。ただし自治体間のやり取りは、自治体担当課レベルのやり取りが不可欠であり、本事例では鳥取市の担当課が6町の担当課とやり取りすることで連携を可能としている。

行政・運営団体・支援団体の三者による組織が立ち上げられている点も重要。各運営団体への支援はこの組織を通して実施することとなっており、寄付も含めて支援物資等を一括して管理しているため、行政からの予算支出にも上限を設定できている。

● 担当者／コーディネーターの声

こどもの居場所である「地域食堂」の「魅力」を地域の人々に発信することを大切にしています。食堂のスタッフから様々な運営上の課題に係る相談を受けますが、「断らない相談支援」をモットーにして、課題解決に向けて伴走しています。そして「食堂をやってみたい」担い手の発掘と、「地域貢献をしたい」という企業に対して、その企業が何ができるのかを一緒に考えることに力をいれています。